

コレクション展 2012-III 時をとらえる

2012年11月17日(土)～2013年2月24日(日)

現在から未来…常に進み続ける「時」

さまざまな「時」の表現に着目

常に過去から現在、現在から未来へと一方向に刻み続け、非可逆的である「時」。

私たちの意志とは無関係に絶えず流れゆく「時」は、芸術においてどのようにとらえられ、表されるのでしょうか。

本コレクション展ではさまざまな「時」の表現に着目し、生ある限り人間が決して逃れることのできない「時」と向き合い、沈思する機会とします。

とどまることなく流れゆく「時」

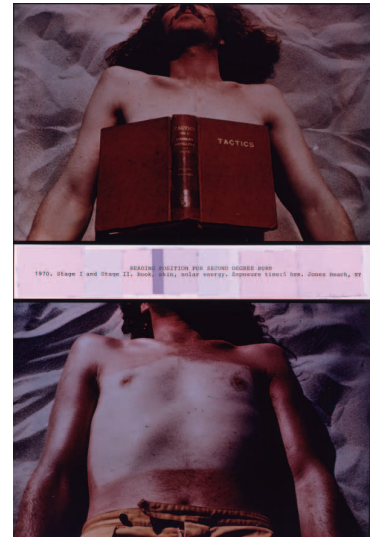
「時」に形を与える方法はさまざまです。絵画が制作される日付だけをキャンバスに描いた河原温の「デイト・ペインティング」は、制作にかかった1日の時間の流れが日付という数字によって表されます。日記の変種ともいえる手法で河原は、過ぎていく「時」に形を与えます。杉本博司は、映画館で映画が上映されている間シャッターを開き続け、光となった映画一本分の「時」の流れを写真に焼き付けます。デニス・オッペンハイムは、日焼け前／日焼け後の対比によって時間の流れを示します。悠久の「時」の流れの中のある一定の時の経過をとらえ、視覚化した作品を紹介します。

人間にとっての「時」

限られた時間しかこの世に存在することのできない人間は、無限の時間に思いを馳せます。人はこの世のすべてに始まりと終わりがあることを受け入れながらも「時」の有限性に抗い、時間を封じ込めることで、永遠の「時」を追い求めようとします。亡くなった母親の下着や遺されたものを撮影した石内都の《Mother's》は、写真の中に存在し続けることとなった母親との対話を可能にします。河口龍夫は経年による変化を回避すべく、植物の種子を鉛の中に閉じ込めます。封印された「時」の中にある種子は、始まりとしての誕生も終わりとしての死を迎えることもありません。限りあるものの生の終わりを示す表現やその死による存在の消滅を乗り越える試みの表現を取り上げます。

「時」の経過を伴う身体やものの動きと痕跡

身体を動かすという行動や、身体を介してものを動かすという行為には必ず時の経過が伴います。足を使って絵の具を押し広げるといったスタイルを確立した白髪一雄の絵画には、躍動感溢れるダイナミックな身体の動きが軌跡として画面上に展開されます。ディヴィッド・ホックニーは歩いている自身の足を撮影し、一コマずつ並べて提示することで、動作と時間の経過の関係を暗示します。かわなかのぶひろは、空き缶を蹴るといったシンプルな行為を、時間の経過をよりわかりやすく記録することができる映像で撮影しました。身体やものの動き、その軌跡にフォーカスし、動きによって暗示される「時」の経過の表現を考察します。



デニス・オッペンハイム  
《日焼けの第二段階のための読書姿勢》1970年



杉本博司  
《サム・エリック、ペンシルヴァニア》1978年



石内都  
《"Mother's" #49》2002年

## 開催概要

- 【会期】 2012年11月17日(土)～2013年2月24日(日)
- 【開館時間】 午前10時 - 午後5時  
※入場は閉館30分前まで
- 【休館日】 月曜日(ただし祝休日にあたる場合開館し、翌平日休館)、年末年始(12月27日～1月1日)
- 【観覧料】 一般 360(280)円、大学生 270(210)円、高校生 170(130)円  
※( )内は30人以上の団体料金  
※小中学生と65歳以上は無料



ディヴィッド・ホックニー  
《竜安寺の枯山水を歩く》1983年2月、京都  
1983年

## 出品作家(予定)

### とどまることなく流れゆく「時」

岡本敦生、河原温、佐藤時啓+Wandering Camera、杉本博司、中原浩大、宮本隆司、デニス・オープンハイム

### 人間にとっての「時」

石内都、井上覚造、今井俊満、岡本敦生、沖本賢二、河口龍夫、小清水漸、松澤宥

### 「時」の経過を伴う身体やものの動きと痕跡

かわなかのふひろ、白髪一雄、田中功起、松澤宥、ディヴィッド・ホックニー、デニス・オープンハイム



河原温  
《SEPT.8, 1984》1984年

### 【同時開催】

- 特別展 震囀 ふたたび虹のかなたに  
2012年11月3日(土・祝)～2013年1月14日(月・祝)
- 特別展 路上と観察をめぐる表現史—考現学以後  
2013年1月26日(土)～4月7日(日)



河口龍夫  
《関係—鉛の温室 HIROSHIMA のたんぼ》  
1995年

広島市現代美術館(学芸担当:角 広報担当:後藤、鈴木)  
〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1  
TEL/ 082-264-1121(代表)・082-264-1146(学芸直通)  
FAX/ 082-264-1198  
E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp  
WEB/ <http://www.hiroshima-moca.jp/>